

ホクレン営農支援情報

(2019年5月号)

●ホクレン農総研では2019年度も視察を受け入れています 《研究企画課》

ホクレン農総研では今年度も視察を受け入れており、オススメ時期は下表のとおりです。

申し込みはJAやお近くのホクレン各支所を通じてお願いします。

サイト	品目・項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	問い合わせ先	
長沼研究農場	品種開発・品種展示	春播き小麦			■									畑作物開発課 0123-88-3331	
		玉ねぎ			■	■	■	■							
		人参				■	■	■	■	■					
		スイートコーン				■	■	■	■						
		かぼちゃ				■	■	■	■						
		大根			■		■								
		ブロッコリー							■						園芸作物開発課 0123-88-1990
		キャベツ							■						
		アスパラガス		■ 収穫期		■	■	■	■	■					
			ミニトマト			■	■	■	■						
		スターチス・シヌアータ				■	■								
		トルコギキョウ						■							
		ICT	リモートセンシング		■	■	■	■	■	■				営農技術課 0123-88-3330	
農業散布ドローン			■	■	■	■	■	■							
農研恵場研究庭	開品種				■	■							畑作物開発課 0123-36-3356		
訓子府実証農場	ICT	自動操舵トラクター			■	■	■						農産技術課 0157-47-2130		
		可変施肥			■	■	■	■							
		リモートセンシング全般		■	■	■	■	■	■						
		冬季野菜							■	■	■	■			
		自給飼料品種			■	■	■	■							
	酪農畜産	乳牛				■	■	■	■	■	■	■	■	畜産技術課 0157-47-2192	
肉牛				■	■	■	■	■							
農業総合研究所 (札幌)	輸送・貯蔵技術(CA貯蔵・MA包装など)												食品流通研究課 011-742-5441		
	品質評価、調理加工特性、商品・加工品開発														
	安全性検査			■	■	■	■	■					検査分析課 011-742-5442		
	品質検査						■	■							

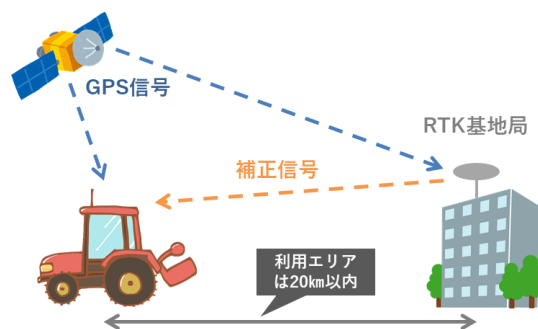
ホクレン
フィールドデー2019
9月6日(金)
開催予定

● RTK 基地局からの距離等による測位精度 《営農支援推進課・営農技術課》

RTK-GNSS とは、RTK 基地局から GPS ガイダンスシステムで高精度な農作業を行うために必要となる補正信号を受け取る方式のことで、「ホクレン RTK システム」（アグリポート 15 号参照）などで採用しています。その利用エリアは、基地局から半径 20 km 程度とされているため、20 km 以上離れた場合の精度がどのようになるか調査しました。

その結果、ガイダンスシステムが RTK 精度で活用できる状態（RTK フィックス）になるまでの時間は、基地局からの距離が 40 km までは 30 秒以下と安定していましたが、50 km 以上では長くなりました。また、基地局から距離が 50 km 地点までは測位した 95% のデータが半径 3 cm 以内におさまり安定しましたが、60 km 以上では不安定となり誤差が 5 cm を超える場合もありました。

試験結果の詳細はアグリポート 18 号に掲載していますので、参考にしてください。



RTK-GNSS 方式

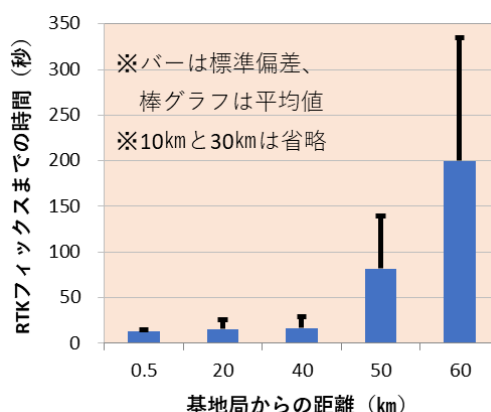


図. 異なる距離での RTK フィックスまでの時間 (抜粋)

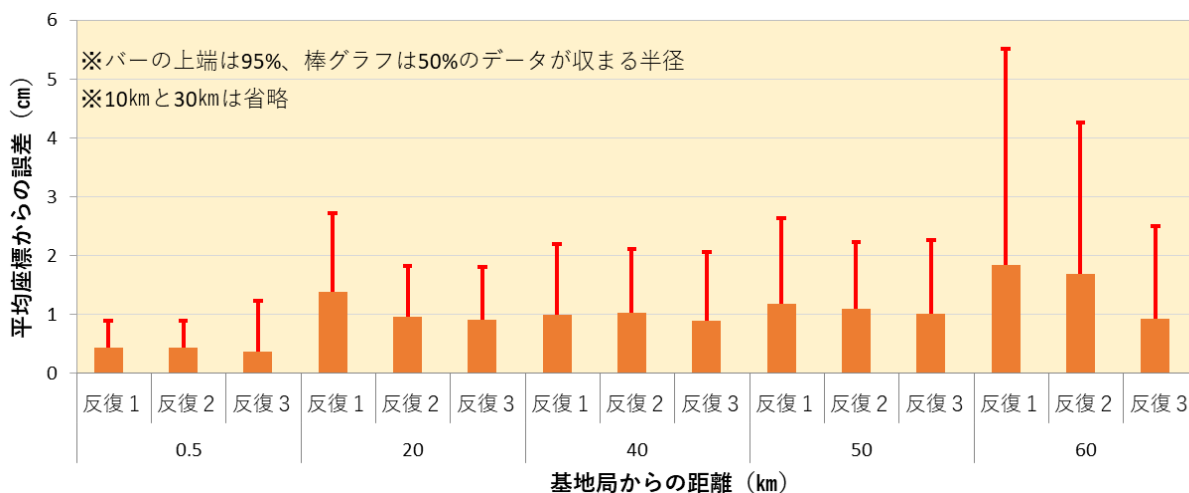


図. 異なる距離での位置測位精度 (抜粋)

●ゆり根用おが粉代替資材の試験経過報告 《食品流通研究課》

4月4日にゆり根生産者団体で構成する「北海道連合百合根振興会」の定期総会が開催され、そこで食品流通研究課が取り組んでいる「ゆり根用おが粉代替資材試験」の経過について報告しました。

ゆり根は、貯蔵や輸送の際に段ボール箱内におが粉を充てんするのが一般的です。しかし、このおが粉が将来的に供給不足に陥ることが懸念されているため、代替資材の探索を行っています。現在、製紙業界の副産物などの素材を対象に①安全性（資材に有害物質が含まれていないか）、②保存性（保管中にゆり根の品質変化が少ないか）、③緩衝性（輸送中にゆり根の物理的損傷が起きないか）、などについての試験を行うほか、資材の供給力についても調査しています。

今後、有効な代替資材が選定できた場合には普及に向けて取り組む予定です。



「北海道連合百合根振興会」定期総会の様子

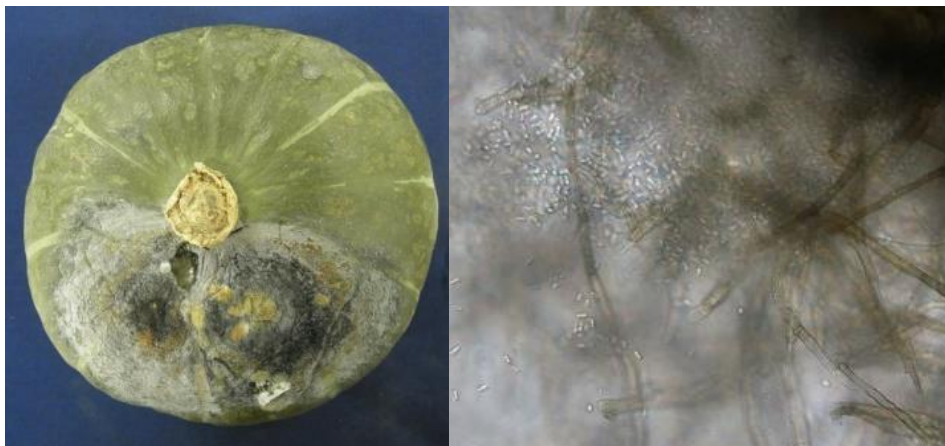


試験中の代替資材の例

●かぼちゃの貯蔵腐敗について 《長沼研究農場 営農技術課》

かぼちゃ生産において、糸状菌による貯蔵腐敗は最も大きな減収要因として知られています。道内では主につる枯病やフザリウム果実腐敗病による貯蔵腐敗が確認されています。一方でその発生生態は未だ不明な点が多く、有効な対策も多くはありません。営農技術課で

は、被害軽減方法の確立を目指して、貯蔵腐敗の発生生態についての研究に取り組んでいます。



かぼちゃの貯蔵腐敗

つる枯病菌 (*Didymella bryoniae*)

●上川管内 JA 合同の農業パートのオシゴト説明会 《旭川支所 営農支援室》

上川管内の JA とホクレン、北海道アルバイト情報社などが連携し、労働力確保のイベント「農業パートのオシゴト説明会」を 3 月 28 日に開催しました。

説明会では、仕事内容のイメージ DVD の放映や、求職者が知りたい内容をインタビュー形式で JA 職員が答えるなど、「農業の仕事」を分かりやすく紹介。その後、各 JA のブースに分かれて具体的な仕事内容や勤務条件などについての相談会を実施しました。当日は開場時から切れ目なく求職者が来場し、最終的には 117 名の方にご参加いただきました。



説明会の様子

JA ブースでの相談会

●酪農の営農技術支援マニュアルを発行 《稚内支所 営農支援室》

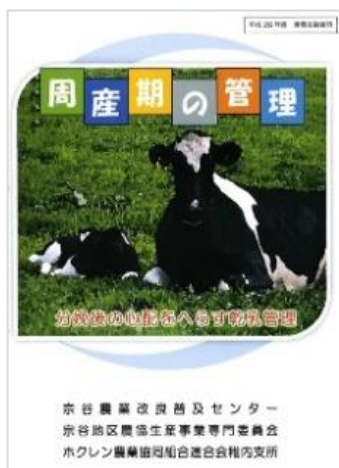
ホクレン稚内支所では、宗谷農業改良普及センターおよび宗谷地区農協生産事業専門委員会と連携し、酪農家の担い手や新規酪農従事者向けの技術マニュアルを発行しました。マニュアルは2016年度から作成しており、これまでに3冊を発行しています。

4冊目となる今回は「飼養管理向上をめざして」と題し、飼養管理の向上を目標とした四つのテーマ「乾乳期を考える」「蹄病について考える」「乳牛トラブル解決のヒント」「強い子牛にするために」で構成。図やイラストで分かりやすく解説しています。

このマニュアルは宗谷管内の酪農全世帯に配布し、今後はマニュアルに基づいた研修会も実施します。宗谷管内以外の方でマニュアルに興味がある方は、お近くのホクレン各支所営農支援室までお問い合わせ願います。



今回発行したマニュアル「飼養管理向上をめざして」



《平成28年度》

これまでに発行したマニュアル



《平成29年度①》



《平成29年度②》

● 苫小牧管内初！JA 北海道中央会と「胆振・日高管内 GAP 推進会議」を共催

《苫小牧支所 営農支援室》

ホクレン苫小牧支所では、4月15日に管内のJA・各振興局・地区農業改良普及センター・北海道糖業(株)道南製糖所などの関係者22名を参集し、JA北海道中央会札幌支所との共催で畑作物GAP推進会議を開催しました。

主要議題は「畑作物GAPの実施について」でしたが、参加者からはGAPの推進方法をめぐる様々な意見も出て活発な情報交換の場となりました。来年度からの本格的な取り組みを前に整理するべき課題もいくつか見えてきました。



発行：ホクレン農業総合研究所 営農支援センター 営農支援推進課

Tel. 011-788-5467 E-mail. einousiensuisin@hokuren.jp